

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年7月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100708
法人名	医療法人 秀愛会
事業所名	グループホーム 清滝
所在地	鹿児島県鹿児島市西千石町13番30号 (電話) 099-213-9950
自己評価作成日	平成28年5月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年6月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

●尊厳をもってその人らしい暮らしができるようにお手伝いします●ゆったりと暮らせる環境を一緒に作って行きます●地域の一人としての橋渡しを行いますを理念に掲げ、ご利用者、ご家族との関係性を大切にしている。行事もご家族参加型の行事に取り組み、家族会を開催してご利用者の日々の暮らしを知って頂いたり、ご要望や相談しやすい環境作りに取り組んでいる。また鹿児島市の中心に位置し交通の便にも恵まれているため、おはら祭りやハンヤ、地域小学校での行事など外出しやすい環境である。行事なども事業所(通所介護事業所やサービス付高齢者専用賃貸住宅)と合同での行事やレクリエーションなどの交流を行っている。また沖野循環器科病院が併設であり、定期の地震や緊急時も対応ができ安心して生活ができるように支援している。外部評価に参加したり、内部研修開催し年間計画を立ててケアの質向上に向けて努力している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは協力医療機関が併設しており24時間医療連携体制が整っている。定期的な受診や緊急な変化について主治医と連携を密にし、疾病の予防や早期発見に努め、利用者が安心して生活できるよう支援している。
- ・町内会に加入し、地域の廃品回収や小学校運動会・夏祭りへの積極的な参加をしている。保育園児との交流、ボランティア受け入れ、ホームの行事への家族・地域住民の参加協力など、継続して地域と良好な連携が保たれている。認知症相談にも対処するなど日常的に交流している。
- ・日々の生活の中で、手引き歩行を支援し、立位援助に取り組んでいる。
- ・食事は利用者の食事への意向や希望を取り入れ、職員が交代で個性を活かしながらホームの味を作っている。適温での配膳や薄味を心がけ、利用者の健康や楽しみを支援している。
- ・管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを大切にし、資格取得に向けた支援を行っている。職員は自らの資質向上に取り組み、日々のケアに活かしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホームでの掲げている理念を、各階の玄関に掲示し、全職員が共有して実践につなげるように努力している。また年に1回勉強会を開催し、ケアへの振り返りも行っている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた独自の理念を作り、玄関に掲示しパンフレットにも掲載している。月1回のカンファレンスで共有を図り、職員移動時や年1回の勉強会で振り返りや見直しを検討し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2ヶ月に1回開催の運営推進会議や、町内会へも加入しており、民生委員や地域包括センター職員に参加して頂き、意見を頂いている。今後も地域の一員として日常的な交流に繋げていきたい。	町内会に加入し、地域の祭りや小学校の運動会、廃品回収に積極的に参加している。幼稚園児との交流、ボランティアの受け入れなども行っている。事業所の夏祭りや敬老会などの行事に地域の人々の参加がある。認知症相談にも対処するなど地域の一員として日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	グループホーム職員にて認知症サポーター養成講座を受けたり、地域の方々や申し込み時でのご家族の抱えている不安や相談にも支援、対応できるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議にて入所状況、事故報告、行事報告を行い、参加して頂いた方の貴重な意見、また相談をさせて頂き、サービス向上に生かし、また次回の会議での結果報告を行うようにと仕組んでいる。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や利用者の現状報告、外部評価の報告などを行い、意見交換をしている。出された助言で災害時にエレベーターを上を揚げ使用禁止にすることで水浸しを防げる事などを避難訓練に取り入れ、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営規定の変更や改正、空床報告、事故報告など密に連絡、定期的な報告を行い、また日頃でも電話やメールにての相談の場を設けて頂いている。</p>	<p>市担当者にはメールや電話、窓口に出向いて、利用者の暮らしぶりやケアの様子を伝えて困難事例等の報告・相談を行い、情報を交換して助言を貰っている。介護相談員も受け入れ連携も取っている。市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体拘束」の定義を常時職員が頭に入れ、また年に1回の勉強会や定義での掲示以外にも日頃から職員が考え、ミーティングやその場での意見交換を行い、身体拘束を行わないケアに努めている。</p>	<p>年1回マニュアルを基本に勉強会を実施している。事例検討などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉の拘束についても日々確認し配慮している。個人その日の状態をきめ細かく共有しながら、見守りの重要性を全職員が理解し、昼間は玄関の施錠をせずに、職員間の連携で職員が一緒に行動を共にするなど利用者の自由な暮らしを支えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待の定義も常時職員が閲覧できる状態にし、年に1回の勉強会も取り入れ、実際のケアでも常に言葉遣いや振り返り、その場での職員同士での声掛けを行い指導や防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、利用者様で制度を利用されていないが、職員は外部研修や勉強会を通して制度や大切さを学び、ケアに活かせるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時における説明、改定や重要事項での説明などの際は、口頭ではなく、文書にて説明し、ご家族の不安がなく、納得して同意して頂けるよう十分な説明を心がけている。また契約後も随時相談体制の支援に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	相談窓口を設け、協力機関とも連携し、ご利用者やご家族がいつでも相談できる支援作りに努めている。またご家族からのご意見、それに対する改善報告等も職員会議や運営推進会議での報告も行っている。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、思いを把握している。家族からは面会や家族会等で常に問いかけ、何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。便りや電話等でも思いを聞き対応している。出された意見や要望等で献立表をホールに掲示するなど反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に1回、責任者会議や職員会議、勉強会、カンファレンスでの機会を設け、また定期的な機械以外でも随時、責任者会議にて法人全体に提案したり、いきいきと働きやすい環境をめざし、事務長にも随時相談、援助頂いている。</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、申し送り時や職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。法人の責任者会議でも提案をしている。職員の意見や提案を取り入れ、職員研修や勤務に配慮したり、利用者の身体機能低下予防や歩行が安全にできるよう手引き歩行や歩く習慣を取り入れる等、反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員が働きやすく、楽しく、やりがいを持って、長く勤めて頂けるように個々の努力や実績、勤務状況を代表者へ報告し、支援を行っている。また外部研修を提示したり休み（有休等）も快くとれるような環境作りに努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的な職員面談以外でも日頃コミュニケーション等、意見交換や、グループホーム内部の勉強会だけでなく、法人内、外部の研修会を掲示、積極的な参加を募り、職員個々の力量や実績、努力を理解しスキルアップにつなげられる様努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他GHと運営推進会議に相互参加し、意見交換を行い、サービスの質を向上させていく取組を行っている。また常に空床状況を開示したり、往診の際に意見交換を行いながら、サービスの質を向上させていく取組を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始前のアセスメントや面談においても本人様、ご家族様に不安な事がないか、お聞きし、早めの対応、解決を心がけ、安心してグループホームで生活して頂けるよう心がけている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用契約時のご家族の要望や、在宅、入院時などの生活からの環境の変化で生まれる不安などにも耳を傾け、安心して利用者様に生活して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様、ご家族が不安としている事や必要としている事を電話相談や面談、定期的なモニタリング、サービスの内容だけでなく、普段の面会時などからも話の中から、満足していただいているかお聞きし、その時に必要とされる支援ができるように努力している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、まず利用者様本位で、利用者様の生活環境の一部であること、楽しい事も利用者様が抱えられている思いにも向きあい、共に支えあう関係性が築いていけるように職員同士でも声を掛け合いながら随時ケアへの振り返りも行い、支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様と、利用者様の関係性や思い、大切なご家族様を介護させていただいている事を常に念頭に置き、言葉づかい、接遇、報告なども信頼関係を大切にし、支援させていただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様が以前より親交のあるご友人や関係の方、お仕事先の方、生徒さんなどもご自由い御面会にきて頂けるようご家族にもお話し、来ていただいている。またお自宅でのお写真や品も飾ったりされている。	馴染みの友人・知人、教え子、宗教の仲間など家族に確認したうえで訪問を受け入れ、継続的関係が途切れないよう働きかけ、面会時は丁寧な対応を心がけている。商店が近く、買い物時は馴染みの人との出会いがある。手紙や電話の取次ぎなども行っている。行きつけの美容院利用や外食・寺・墓参など、家族の協力を得て支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の思いや、性格、言葉いできない思い（性格や病気から）も職員が1人、1人把握し、普段の会話の中からも思いを聞き問題把握み努めている。また、テーブル席も随時変更したり、孤立しないように職員がこまめに声かけや仲介に入りながら支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も領収書発行時にお手紙を書いたり、本人様の状態報告を聞いたり、面会に来ていただいたり、お世話になりましたと干支の置物を頂いたりしている。良い関係性作りに努めて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者様本位に努め、要望や不安な事がないか、普段のコミュニケーションや動作、仕草などからも早期発見、対応できるように心がけている。また面会時などもご家族に様子を聞いたり、職員に話せない思いなどもないか、お聞きし支援に努めている。	日々の関わりの中で言葉や何気ない日常の仕草・会話など、こまめな職員の気付きから意向や思いを把握している。職員は気づきを記録し、職員間の情報交換も密である。困難な場合は家族や友人からの情報を得て、本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の面談や定期的な介護支援計画書、概況を元に、ご本人の生活歴、背景などにも着目し、普段の会話の話題にしたり、またご家族からも、情報収集し、支援に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的な健康チェック以外にも顔色や早期の状態発見に努めて支援しているが、本人様の残存機能を生かし、本人様のペースで、できる事はしていただきながら、見守り、支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者様、ご家族様が満足していただけるように定期的な介護計画の見直しだけでなく、受診時など、主治医、各専門職との連携をとり、現状に即した介護計画の作成に努めている。</p>	<p>本人や家族の意向を確認し、主治医や関係者の助言を取り入れ、担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。6ヶ月毎にモニタリングを実施し、必要時に見直し、状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。定期的な見直しのほか状態変化や受診結果により医師、看護師、利用者や家族と相談しながら介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>朝、夕の申し送り、細かな利用者様変化に気づけるよう職員間でも申し送りの工夫、共有を行っている個別計画書も濃いものになるよう見直しも視野に入れている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人様、ご家族が満足して頂けるよう、随時相談受付を行い、また定期的な介護計画書の見直し以外でも面会時などの会話の中でも聞き取りを行い対応できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の支援、民生委員、地域包括、小学校での行事、地域でのお祭り行事などを通して安心した暮らしが実践できている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人様、ご家族の希望にて主治医、また他科受診を行い対応している。定期的な受診以外でも緊急時等の対応を行い、適切な医療を受けられるように支援している。訪問看護も受け、また医療が必要となった場合の体制も本人様、ご家族に十分に説明し支援を行っている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。入所時に併設の協力医療機関に変更の利用者も多い。歯科や皮膚科は往診もある。他科受診は家族の協力を得ながら支援している。受診結果は家族と共有している。複数医療機関と協力関係を密に結び、緊急時の対応など適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>併設病院外来、訪問看護と連携、相談援助を受け定期的な受診以外でも変化時、緊急時はすぐに報告、指示に従っている。適切な看護を受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時も定期的な面会や病院関係者との情報交換、リハビリの状態観察、食事状態、形態の観察を行い、またご家族と、主治医とも連携を取りながら、た退院がスムーズにいくように支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合における方針を契約時に説明、同意を頂いているが、実際支援対象となった場合、再度支援を立てご本人、ご家族、主治医と早い段階から話し合い全体で支援できるように努めている。また職員間でも定期的なカンファレンスを行い、支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い随時話し合い事業所が対応し得るケアについても説明している。主治医や関係者が連携して、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。職員はターミナルケアの勉強会を行っている。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時や急変に備え、緊急マニュアルも職員が常時閲覧できるようにし、すぐに対応できるように努めている。また連絡網も確認も行い、日中、夜間を想定した避難訓練を年に2回行っている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回、日中、夜間を想定した避難訓練をおこない、単送、護送の援助、移動方法、シートでの移送の方法、階段の移動も指導頂き訓練を行った。また、災害マニュアルの定期的な見直しや非常時に備えて非常食の備蓄をしている。また運営推進会議において地域の方々の参加も依頼している。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、防火管理者を中心に併設している母体医療機関や同法人事業所と合同で、昼夜想定避難訓練を実施している。避難場所への安全でスムーズな移動、隣接の母体医療機関屋上への避難経路確認など実施している。搬送方法の実践や検討も行っている。地域の消防分遣隊やビルの住民、地域住民にも参加を依頼して協力体制を築いている。非常時の水や米・カップ麺・真空パックご飯等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の暮らしの中で職員が支援させていただいている事を念頭に置き、普段の言葉づかいやコミュニケーション、ケア（特に入浴や排せつ）もプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	トイレ誘導や入浴介助時の言葉かけ、入室時のノックなど、年長者として敬意を払い、人としての尊厳を保てる言葉かけや対応に留意している。マニュアルに沿って勉強会を行い、職員の資質向上に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が自己決定できるように強制するのではなく、本人様本位の姿勢で支援に努めている。また思いをなかなか話せない方へも工夫しながら自己決定できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の思いやその方のペースを大切にし、職員側の考え、主観にならないよう職員同士も気づいた時は声を掛け合いながら支援にできるよう努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様の思い、好きな色、好みに合わせながら自己決定して頂き、支援している。また自己決定が難しい方も声かけを工夫したり、ご家族からお聞きし、その方の思いを大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様も「食事が楽しみ」といわれる事が多く、その思いを大切に、工夫している。食事の彩や形態、栄養バランス、旬や季節の物を取り入れて提供を行っている。食事後のお盆やテーブル拭きも一緒にして頂いている。	栄養士の助言を得ながら、旬の食品で利用者の希望に添った献立や食事形態を工夫している。可能な範囲で準備や片づけを職員と一緒にしている。父の日・母の日に家族参加の食事会を催し、食事が楽しみなものになるよう工夫している。口腔ケアも大切にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士（併設病院）と連携、相談援助を頂き、勉強会でも講師をして頂いたりしている。疾患によりカロリーや塩分、飲水制限のある方は職員が情報共有し、ケアに努め、また、定期的な体重測定でも把握を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔の清潔保持、衛生管理をしっかりとし、その方の口腔状態や義歯状態、心身状態に合わせて介助、確認、声かけを行い、自立支援に努めている。また協力機関において訪問歯科往診との連携体制を整えている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	可能な限り、トイレにおいて排泄して頂き、下剤を使用している方は排便間隔の確認、排泄パターンを確認し、自立支援に向けた支援を行っている。またおむつやパットの随時見直しもしている。	チェック表等で習慣を把握し動作や表情など、小さな情報も職員全員で共有してトイレでの排泄の自立支援をしている。手引きや歩行器等を使用して日々歩行することで、排泄の自立を支援している。改善された事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	なるべく自然排便ができるように、排泄パターンの観察、下剤の調整、主治医との連携を行っている。繊維物の多い食事の提供、適度な運動、水分補給を心がけ、支援に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回入って頂いているが、本人様の体調、思いを優先に職員の思いが先だつて強制的になってしまわないように心かけている。また拒否がある際は、少し時間をおいて声かけしてみたり、職員を変えて声かけしたり時間帯を変えたり個々に応じた支援を行っている。	入浴は基本的に週3回であるが、一人ひとりの希望や体調に合わせて曜日、時間、湯温など利用者の希望を確認し、入浴剤を使用して気持ち良い入浴を支援している。入浴を拒む利用者には、声かけや時間調整・順番・職員の交替など、声かけを工夫して入浴支援をしている。足浴に入浴剤も利用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者の生活習慣や体調等の状況に応じて声かけしたり、不眠の方へ睡眠パターンを観察し、医師とも連携相談し、安心して気持ちよく睡眠がとれるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の服薬する薬の目的、用法、副作用等、薬情報にて管理し、職員でも共有し、把握を行っている。また配役、服薬時もダブルチェックを行い、確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者の希望や、声かけを行い、公園への散歩、日光浴、計算問題、色塗りを個々に応じて声かけし、気分転換をはかれるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	定期的に外出行事にてお弁当を持参して（お寿司を持って行ったり）コスモス見学や花見、ソーメン流しなど季節を感じてもらえるように支援している。またご家族とも外出に行かれ、今後も継続的に支援していく。	日常的には一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせて、屋上の藤棚を楽しんだり、散歩や買い物に出かけている。計画を立てて花見や木市・初詣・行楽地・地域の行事等に出かけている。家族の協力外出や外食・理美容院利用・墓参・外泊などにも支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	グループホームでの生活の個人の金銭管理はご家族や職員がお行っているが、外出レクの際のおみくじやお賽銭は利用者様自身で入れ、お渡ししている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯電話を所持されている利用者様もいらっしゃり、自由にお電話で話されたり、また遠方のご家族からも電話がある際はおつなぎしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間が居心地の良い空間であるように、必要以上の照明、テレビの音量、温度が不快感を招かないように、空気の入替えや職員で音楽に変えたりと、こまめな調整を行っている。</p>	<p>玄関や居間・食堂には季節に合わせた花や作品が飾られ、採光や温度や湿度にも細かな配慮がある。対面式のキッチンが電化式で安全で利用者も手伝いやすい。利用者はそれぞれの場所で読書やあやとり・将棋など、ゆっくりと過ごすつろいでいる。窓から街の風景を楽しみながら、快適に過ごせる環境作りがなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間の中でも、時間に応じて計算問題や色塗りに集中されたり、その中でも利用者様同士で会話されたり、思いおもいに過ごせている。また居室で過ごされる方もいらっしゃる、今後も継続してして支援していく。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の空間は本人様の思いに沿って、使い親しまれたものや、写真、手作りの物等も飾り、居心地良く過ごせるような工夫を行っている。またオムツ類はなるべく目につかないように収納したりしている。</p>	<p>居室は、ベッドやダンス・洗面台は備え付けである。テレビや机・位牌・写真・寝具等、家族や利用者が話し合い、本人の好みの物や使い慣れたものが持ち込まれ、それぞれの個性が出た居室になっている。ハンガーには何時でも外出できるよう洋服がかけられて、利用者が安心して過ごせるよう配慮されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご利用者様の残存機能、できる事はしたいという気持ちを尊重し、ご家族にもその都度の説明、協力を頂きながら、安心して穏やかに楽しく生活をして頂けるように、リスク管理も行いながら支援している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない